

特別公開12

登録有形文化財

藤間家住宅

(とうまけじゅうたく)



①歴史・概要

春日大社の南方に位置する高畑町にあり、旧柳生街道に面して南側に建ちます。かつてこの辺りには、土堀で囲まれた屋敷に春日大社の神職たちが暮らしていました。藤間家も明治まで春日大社の神職を代々務めていました。藤間家住宅は、この地域に残る唯一の社家住宅です。18世紀に遡る古い形式をよく留めており、近世における社家住宅の発展や生活を知ることのできる極めて貴重な建物です。

社家(しゃけ)・社家町(しゃけまち)

一般に、神職を世襲する家を社家、社家が住む町を社家町といいます。春日大社では、特に上級神職を社家とし、その他の神職は神人(じにん)と呼ばれました。藤間家は神人の家でした。



②見どころ

- 社家住宅としての格式を表わす造り
 - ・式台付の玄関のある表構え
 - ・板欄間や釘隠等、座敷の繊細な装飾
- 旧社家町の歴史的景観をつくる表門と土堀
 - ・簡素ながら端正な意匠の本瓦葺の表門
 - ・時の流れを感じさせる独特の風合いの土堀
- 高野槇の神木や小祠のある社家らしい前庭

所有者からひとこと

(一社)高畑トラストでは、唯一現存する春日大社の社家住宅を、アーティスト達の集う文化事業の発信地にしたいと奮闘しています。雨漏りし、天井が落ち、床が抜けていた主屋が、皆様のご支援のおかげでよみがえった姿を、是非ご覧ください。